



江戸川区立松江第六中学校



学校だより

令和7年6月2日 第3号

江戸川区立松江第六中学校

校長 小野満 賢

多様でありながら、ひとつ

校長 小野満 賢

心配されていた渋滞もほとんどなく、本校の3年生を乗せたバスが第二京阪道路を順調に進みます。右手に大阪城やユニバーサル・スタジオ・ジャパンが見え、生徒たちから歓声が上がります。ほどなく「大屋根リング」が見えてきました。世界最大の木造建築とギネス世界記録に認定された大阪・関西万博のシンボルは、遠くからでもひときわ目を引きまします。京都の宿からほぼ予定通り、約1時間半で目的地に到着しました。

セキュリティチェックを済ませ、西ゲートを通過すると、全周が約2キロメートル、高さが20メートルの「大屋根リング」のその大きさに圧倒されます。それでいながら日本の伝統構法で組まれた建造物の、スギやヒノキ、オウシュウアカマツなどの建材の何とも言えぬ温かさを実感することができます。写真や映像では何度も見てきた大屋根リングですが、実際に目の当たりにするとデザインの素晴らしさや日本の建築技術の精緻さに感動します。「百聞は一見に如かず」とはこのことだと改めて感じさせられました。



令和7年5月9日（金）、私たちは修学旅行2日目に大阪・関西万博を訪れました。

せっかく開催されるのだから、大阪・関西万博を生徒たちに見せたいという学年の教員の強い思いがあり、2年前から団体列車を使わずに、大型連休明けのこの日を指定し準備してきました。同行した旅行会社の添乗員さんによると、東京の中学校で、修学旅行で万博を訪れるのは本校が第1号ということで、一つ一つ確認しながら会社を挙げて実に丁寧に対応していただきました。A4用紙を四つ折りにしたチケットのQRコードをかざして予約したパビリオンに入場することや、会場内での買い物や食事はICカードでしか決済ができないことなど、この万博独自のシステムがありましたが、事前に入念に確認していたため、大きな混乱はありませんでした。生徒たちはクラスを超えて編成された18の班ごとに、学校予約をした「電力館」か「日本館」のどちらかに指定された時間に行くことだけが決まっています。あとは180を超えるパビリオンの中から、事前学習で調べ、優先順位を決めたものの、混み具合

を見ながら状況に応じて自由に回っていました。連休明けとはいえ、全国からの修学旅行生や海外からのツアー客、地元の幼稚園児や小学生とおぼしき団体客が大勢訪れていましたし、敷地が東京ディズニーランドの3倍の広さであることもあり、学年の教員は、絶対に班のメンバーとはぐれないように指導を徹底していました。

私も、会場を見渡せる大屋根リングの上の回廊（スカイウォーク）と、雨風をしのげる下の通路（グラウンドウォーク）をひとしきり歩いた後、パビリオンを覗いてみることにしました。「並ばない万博」を謳っていましたが、午前中から人気のパビリオンには長蛇の列ができていました。私はなるべく列の短いところをねらって見学しました。若干速足にはなりましたが、サウジアラビア、スペイン、タイ、トルコ、アラブ首長国連邦、コロンビア、ブラジル、クウェートのパビリオンを見学し、最後に生徒と一緒に日本館を見学しました。それぞれの国の特長や力を入れている技術や産業が外観や内装・展示に表れており、興味をひくものがたくさんありました。写真撮影も、フラッシュを使用しなければ全く自由なのも嬉しかったです。個人的にはクウェートとアラブ首長国連邦の展示の見せ方が素晴らしいと感じました。見れば見るほど「もう一度見たい」「他のも見たい」という気持ちが湧いてきました。生徒たちの知的好奇心もだいぶくすぐられたに違いありません。もう少し近くに住んでいたならば、「通期パス」を手に入れ、期間中何度も足を運びたいと思いました。

スカイウォークから



さて、先の大屋根リングは「多様でありながら、ひとつ」という会場デザインの理念を表したものののだそうです。「様々な文化やバックグラウンドをもつ人々が、一つの空間で交流し、共通の体験を共有する場であること」を意味しています。（EXPO2025 大阪・関西万博公式Webサイトより）

もちろんスケールは違いますが、学校もまた、ひとりひとり違う個性をもった生徒たちが、たまたま同じ時期に同じ場所で共通の体験を共有しています。

3年生は修学旅行から帰ってきてすぐに、運動会に向けて活動を始めました。3年生は4月に1名、5月の修学旅行明けに2名の転入生を迎えたのですが、あっという間に打ち解け、今までもずっと一緒だったかのように、運動会の練習をしていたのが印象的でした。誰にでも分け隔てなく声を掛け、仲間として受け入れる寛容さはこの学年の生徒の良いところの一つです。新たな仲間を迎え入れ、最上級生として運動会を成功させるという目標に向け、ひとつになって頑張っている姿を見ることができ、校長としてとても嬉しく思いました。

私たち教職員もまた、縁があって同じ時期に松江六中に集まり、生徒たちと日々向き合っています。多様でありながらひとつのチームとして、松江六中の生徒一人一人が輝き活躍できるように、主体的に判断し行動できるように、そして一人残らず将来の夢に向かって堂々と一步を踏み出すことができるように、これからも教育活動を進めてまいります。



修学旅行を終えて 5/8(木)～5/10(土)

入学間もない5月から準備が始まった修学旅行。奈良・広島・滋賀などの様々な訪問先を検討しましたが、2年後だけではなく、10年・30年先の子どもたちを想像すると、「万博での体験は、未来への最高の贈り物になるのではないか」と、学年職員全員の思いが一致しました。「いのち」を考える各パビリオンのプログラムに参加することで、一人一人が望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できる社会の実現を本気で目指してほしい。それは、これからの世界を担う子どもたちの、行動変容の礎になるはずだ。との願いも込め、今年度の訪問先は「京都と大阪・関西万博」としました。



京都駅に到着すると、すがすがしい青空のもとで班別市内行動がスタート。古都の玄関口である東寺で、シンボリック的存在となっていた五重塔に目を奪われたり、昼食の想像以上のおいしさに笑顔がとまらなかったり、千本鳥居のスケールに圧倒されたり、人のあたたかさに感動したりと、各班ごとの楽しみ方があるようでした。時間をかけて訪問先を検討し、見どころを調べ、ルートを幾通りも研究してきましたが、その甲斐あって、ほとんどの班が自分たちの決めたとおりに回ることができ、また一つ自信を深める機会となったようです。中には大幅な変更をしなければならない班もありましたが、事前学習を思い出しながら冷静に軌道修正するなど、難易度の高い対応を見せてくれました。

二日目は雨予報でしたが昼過ぎから小雨がばらつく程度で強い日射しに悩まされることもなく、絶好の万博日和となりました。限られた時間の中で、100以上あるパビリオンからどこを選びどう回るか。各班で作戦を練ってきましたが、平均で5カ所ほど回ることができたようです。フランスでファッションの歴史やデザイン・色づかいのクオリティに心を打たれる班もあれば、ヨルダンの砂の上で寝そべり、異国情緒をたっぷり味わった班もあり。ブラジルでフェイスペイント体験をして、一日中そのまま過ごす生徒もいれば、電力館で先生たちと一緒に夢中になってエネルギーを集める生徒も。日本館では火星の石に直接触れる貴重な体験をする生徒や、「日本がこんなにも魅力的だとは思わなかった」との感想を綴る生徒もいて、多様性あふれる世界を理解するとともに、日本の魅力を再発見できたのではないかと思います。世界への扉、未来への扉を大きく開いた一日となりました。



この他にも高台寺での能鑑賞やタクシーでの市内観光、宿舎での共同生活など、瞬間瞬間に魅力のあふれる三日間でしたが、自主的行動や集団行動の中にはたくさんの失敗や課題もありました。この修学旅行が成功だったか否かは、そうした失敗や各自の見つけた課題、成功体験から何を学び、残りの学校生活やこれからの人生にどう活かしていくかで決まるのだと思っています。だからこそ、実行委員はスローガンの一言目を「学べ!」としたのです。あとから振り返ったときに、「あの修学旅行で学んだから今がある」と思えるような人生であってほしいと心から願っています。

(文責：3学年主任 池尻 辰雄)

第50回運動会を終えて 5/24(土)

「今年の運動会はいつもと違うぞ。」そのように感じてもらえたのであれば、それは今年の運動会が成功したのだという証拠だと思います。

今年の運動会は「縦割りの活動を増やしたい」という思いから、大幅に種目を変更しました。今まで、縦割り種目というとチアタイムと色別対抗リレーだけでしたが、今年はそれに加え、「竹取物語(棒引き)」「君の縄(綱引き)」「かごいっぱいになあれ(玉入れ)」を実施しました。さらに、生徒会では「部活動対抗リレー」を取り入れました。



竹取り大混戦



ヒーローがやってきた!



お願い!入って!

竹取物語では、どの棒を狙うのか、3年生が下級生に指示を出し、相談する姿が見られました。決着がつかず最後まで残っている棒を、学年を越え大勢で引っ張る姿は圧巻でした。

君の縄では、3年生男子がトラックを駆け抜け、綱を引いている仲間のもとへと駆け付けました。その姿はまるでヒーローのようでした。3年生が到着するまで、自分達の力で踏ん張るんだという1・2年生の思いを感じることもできました。

玉入れでは、走力でもパワーでもない力が試されました。作戦を立てづらく、当日までどのような結果になるか誰も予測できませんでした。そのような状況の中でも全員がかごをいっぱいにするという目標に向かい力を合わせました。

部活動対抗リレーでは、他部活との交流が生まれ、普段知ることのできない一面を知ることができたのではないのでしょうか。このような素敵な種目を考え沢山の準備をしてくれた生徒会の皆さんありがとうございました。

今年の運動会を振り返り感じるのは、3年生に多くの負担をかけてしまったということです。修学旅行開け初日に全体練習があったり、新しい種目があったり。そのような中でも3年生が各色の中心となり、下級生を当日まで引っ張ってきました。

今年、3年生は松江第六中学校の運動会に新しい種を蒔きました。運動会、「楽しかったな」「頑張れたな」「良かったな」と思ってくれた1・2年生がこれからその種に愛情を注いでくれることでしょう。今年の運動会は終わってしまいましたが、次回どんな色の花を1・2年生が咲かせてくれるのか、今から楽しみにしています。

運動会を通して築いた学年を越えた絆を忘れずに、今後の学校生活も頑張らしましょう。



部活動対抗リレー
スタートを待つ面々



文化部はバトンの代わりに...

(文責：体育的行事委員長 保健体育科 藤田 真緒)

第50回運動会スローガン

一致団結界限～優勝しちゃっていいじゃん～



入場行進



吹奏楽部演奏



開会式：開会宣言



実行委員長挨拶



選手宣誓



司会生徒



準備体操



3年女子短距離走



3年男子短距離走



障害物競走



障害物競走



2年女子短距離走



2年男子短距離走



竹取物語



二人三脚





1 年女子短距離走



1 年男子短距離走



3 年全員リレー



2 年全員リレー



1 年「台風の目」



横断幕・スローガン



3-2「承前啓後」



君の縄



生徒会種目・部活動対抗リレー



盛り上げる吹奏楽部



チアタイム 青



チアタイム 黄



チアタイム 赤



かごいっぱいになあれ



1 年全員リレー





【第 5 0 回 運動会結果】

	1 年	2 年	3 年	色 別
優 勝	1 組（赤）	1 組（赤）	1 組（赤）	赤
最優秀横断幕	2 組	3 組	2 組	

運動会実行委員（◎実行委員長、○副実行委員長）

（敬称略）

	1 組	2 組	3 組
3 年			
2 年			
1 年			

横断幕係（☆係長）

（敬称略）

	1 組	2 組	3 組
3 年	☆	☆	☆
2 年	☆	☆	☆
1 年	☆	☆	☆

「横断幕」各クラスの力作をご覧ください



1-1 「完全燃焼」



1-2 「力戦奮闘」



1-3 「硝煙弾雨」



2-1 「羽ばたく蝶」



2-2 「躍如」



2-3 「光輝燦然」



3-1 「竜章鳳姿」



3-2 「承前啓後」



3-3 「豪雷破閃」

夏季総体壮行会 5月30日（金）

5月30日（金）朝、体育館に全校生徒が集まり、6月1日（日）から始まる夏季総体に向けて練習に力を入れている仲間を、学校を挙げて応援しようと「夏季総体壮行会」が行われました。陸上部を除く運動部活動のそれぞれの部長が全員ユニフォーム姿で、今大会に向けての抱負を熱く語りました。

前回の試合で1点差で負けた悔しい思いを胸にリベンジに燃える部や、今まで合同チームで出場していましたが、ようやくメンバーがそろい、松江六中として大会に出場できる喜びを伝えた部もありました。生徒会長の 君からは、「3年生にとって最後の大会、選手たちが頑張れるように皆で応援をお願いします」という話がありました。

先日の運動会で多くの生徒の皆さんが経験したように、応援されるといつも以上に頑張れることがあ



右側から、女子バレーボール部、女子バスケットボール部、男子バスケットボール部、女子ソフトテニス部、男子ソフトテニス部、ハンドボール部、サッカー部

ります。まさに「応援は背中を押す」です。全校生徒の思いが松江六中の選手に届き、今までの練習の成果を発揮し、自分たちのベストな闘いができることを願っています。

ちなみに生徒会の活動の一つとして、生徒の皆さんが書いた応援メッセージを昇降口前のメッセージボードに貼り出しています。いくつかのメッセージは昼の放送でも紹介されるそうです。このメッセージも選手の皆さんに届くといいですね。

教育実習が終わりました 5／12（月）～5／30（金）

3週間にわたり、松江六中に教育実習に来ていた二人が、5月30日で無事に実習を終えました。将来教員を目指している二人に、松江六中の生徒や教職員はどう映ったのでしょうか。より「学校の先生になりたい！」という気持ちが大きくなったなら嬉しいです。教育実習を終えての感想を紹介します。



渡邊 椋太先生（保健体育 1年3組）

約3週間大変お世話になりました。多くの先生方だけでなく、生徒たちにも支えられ、充実した教育実習になりました。運動会に参加させていただいて、生徒たちの応援や、頑張っている姿を見て、心打たれました。この経験を活かして、より良い先生になりたいと思いました。



佐々木 詩歩先生（音楽 2年3組）

3週間という短い時間でしたが、教育実習を通して教師という仕事の大変さとやりがいの両方を実感しました。授業づくりや指導の面では反省点も多々ありましたが、それ以上に得られた学びが大きく、貴重な時間となりました。この経験を今後の成長につなげていきたいと思います。改めまして、ご指導して下さった先生方、生徒のみんな、本当にありがとうございました。

6月11日(水)～13日(金) 定期考査があります。



時間を有効に使って計画的に学習しましょう。6月4日（水）からは、考査一週間前となり、原則部活動も無くなります。各学年で開催する学習会や自習教室も積極的に活用しましょう。

	6月11日（水）	12日（木）	13日（金）
1	学習（30）	学習（30）	学習（30）
2	理科（50）	技家（30）	社会（50）
3	美術（30）	英語（50）	数学（50）
4	保体（30）	国語（50）	音楽（30）

体力テストがあります 6/24（火）①～③ 目標値を越えよう！

6月24日（火）に令和7年度の体力テストを行います。本校ではそれぞれの学年の目標値を生徒に示し、それを超えることを目指して体力テストに臨ませています。昨年度の分析によると、本校の生徒は、男子は長座体前屈（柔軟性）、女子は握力と長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳びとハンドボール投げ（筋力と柔軟性、敏しょう性、巧ち性・瞬発力・投力）の数値が低いということが分かっています。学校の体育の授業や運動部活動だけで運動習慣が定着するものではありませんが、目標値を超える項目が昨年度より増えていることを望みます。なお、今年度は体育館を昼休みに開放し、事前に練習ができるようにします。また、測定前に柔軟等の準備運動も行うことにしています。

立ち幅跳び 目標値(cm)		
	男子	女子
中1	182	166
中2	198	171
中3	213	175

長座体前屈 目標値(cm)		
	男子	女子
中1	41	44
中2	44	47
中3	48	49

反復横跳び 目標値(点)		
	男子	女子
中1	50	46
中2	54	48
中3	57	49

握力 目標値(kg)		
	男子	女子
中1	25	22
中2	31	25
中3	36	26

上体起こし 目標値(回)		
	男子	女子
中1	25	22
中2	29	24
中3	31	25

ハンドボール投げ 目標値(m)		
	男子	女子
中1	19	12
中2	22	14
中3	25	15

目標値を
超えよう！



6月の行事予定

日	曜	行事予定	給食	日	曜	行事予定	給食
6/2	月	朝礼	○	18	水	耳鼻科健診（全）	○
3	火	避難訓練	○	19	木	眼科健診①	○
4	水	期末考査 1週間前	○	20	金	高校の先生による講演会（3） 進路説明会（3）	○
5	木	専門委・中央委員会	○	21	土		
6	金	林間学校保護者説明会（2） 脊柱側弯検診（1）	○	22	日		
7	土	科学センター開室式		23	月	生徒会朝礼	○
8	日			24	火	体力テスト	○
9	月	生徒会朝礼	○	25	水		○
10	火		○	26	木	眼科健診②	○
11	水	期末考査	×	27	金	校外学習（1）	23
12	木	期末考査 小学校出前授業	○	28	土		
13	金	期末考査 小学校出前授業	○	29	日	夏季総体（終）	
14	土			30	月	朝礼 三者面談（全）始	○
15	日			7/1	火		○
16	月	朝礼 水泳指導（始） 実力テスト（3）	○	2	水		○
17	火	安全指導	○	3	木		○